



# 日勤動労千葉

国鉄千葉動力車労働組合

〒260 千葉市中央区要町2番8号 (動力車会館)

電話 (鉄電) 千葉 2935・2939 番  
(公) 043 (222) 7207 番

No.

96.10.1

4474

## 定期大会が近づいてくる！ 奮闘の目録。

「正念場の国鉄闘争勝利に向けて、全組合員の力を結集して恒常的なストライキ体制を堅持し、危機にたつJR体制打倒の闘いに立ちあがろう！」

「国鉄―安保・沖繩闘争の高揚のなかから、大失業と戦争の時代をはね返す労働運動の新しい潮流をつくりあげよう！」をメインスローガンに開催された動労千葉第二三回定期大会二日目の議事は、事業部運動の強化について、九六年度予算案、規約・規則の改正についての提起をうけ、そして動労千葉議員団中村俊六郎御宿町議のあいさつをうけ、一括して質疑応答にはいった。

### 主要意見・質問

「JR総連革マルと当局の結託した勝浦運転区廃止という理不尽な組織破壊に対し、署名活動などの地域での取り組み、そして七十二時間ストライキを闘い動労千葉魂をもって、自信をもって鴨川運転区に赴任し、勝浦支部の伝統を引継ぎ、三三名で動労千葉鴨川支部を結成した。さらに鴨川支部の組織拡大へ闘う。」

「有機溶剤問題で大きな勝利をかちとった。皆の力でやってきた成果、粘り強い闘いが必要なんだと、この闘いを発展させて、さらに一枚岩の団結を強化したい」



動労千葉第23回定期大会

### らむ転動について

「台風一七号によって内房線が寸断される中で、臨時仕業の発生や明けの行路がはっきりしないなど、異常時の対応に問題がありすぎる」

「京葉ルートに伴う貨物基地の統廃合について」

「昇職・昇格問題、賃下げなしで六〇才まで安心して働けるように」

### 「事務係の要員について」

「実態調査にふまえて、各支部のBダイヤ、交渉でなおせるような力量が必要だ」

「一〇年間の苦闘を共にしてきた昨日の解雇者のあいさつにシーンとくるものがあった。解雇撤回へわれわれも一皮むけた闘いが必要だ」

## 12月ダイヤ改阻止！ 11.10総決起へ！ 96冬季物販へ！



議長団に、照岡代議員、安西代議員

「委員長総括発言要旨」

動労千葉としての獲得目標は(1)二八名の解雇撤回、清算事業団一〇四七名、動労千葉一二名の解雇撤回。(2)不当配転者の原職復帰。(3)反合理化、奪われた労働条件をいかに取り戻すか。

この闘いの最大の敵は、JR東日本とJR総連革マルの結託体制、いわゆるJR体制だ。しかし、今度の台風問題でも明らかとなり、一〇年間革マルと結託し、労務政策・動労千葉破壊を優先するあまり、まともな列車を運行することができない状況、高崎での事態不正義・理不尽なことしかやってこなかった中で、JR体制にポロが

ではじめ、夕ガがゆるみはじめています。恒常的なスト体制を堅持し、おもしろい、全組合員あげてJR体制打倒へ、この中に全体の要求の力ギがある。

また、JRをめぐる情勢は、体の政治状況、労働運動の状況に規定されている、日常不断闘う労働運動を復権させていことが必要だ。安保・沖繩・鉄闘争の勝利をめざす一〇名結集へ。

全組合員の団結、総決起で、一〇年間の闘いを結実させる勢をつくりだそう！

## 「JR総連」打倒が勝利のタビ